

大阪市立大学 全学FD事業  
第22回教育改革シンポジウム

グローバル化への積極的対応と  
初年次教育・全学共通教育改革

日時

2014年 **12**月**8**日(月) **15:30~17:30**

場所

大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター10階会議室

講演

「高等教育大衆化での研究大学の役割  
— 研究と教育を統合した高大接続の展開 —」

**羽田 貴史** 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授・副機構長  
大学教育支援センター長  
学際融合教育推進センター長  
キャリア支援センター長

グローバル化が進展する中、大学教育もそれへの対応を迫られています。本学はこの動向を、研究大学を志向する公立総合大学として、大阪を中心とする地域社会と広く世界と結んでいく役割を果たすチャンスととらえ、グローバル市民とグローバル市民の育成をめざして、これからの教育のあり方について検討を進めてきました。その一環として、平成28年度の4学期制導入に向けた議論も行われており、第21回教育改革シンポジウムでも話題になりました。

他方、教育改革においてはカリキュラムの内容こそ重要であり、本学では4学期制の導入を、アカデミックカレンダーの変更ということだけではなく、学生が大学での学びのあり方を理解し21世紀のグローバル社会における主体的学習者へと転換していくための、初年次教育・全学共通教育改革の契機としたいと考えております。さらには、世界的な視野を持ち、かつ多様な人との協働力、価値理解、コミュニケーション力を持つ人間の育成にも役立つ、全学共通教育を構築していきたいとも考えています。

そこで第22回教育改革シンポジウムにおいて、東北大学の羽田先生を講師としてお招きし、初年次教育や全学共通教育のあり方について議論を行いたいと思います。東北大学では「学びの転換」を育む初年次教育、教養教育の充実、国際連携を活用した大学教育力開発(Professional Development)などの多岐にわたる教育改革が推進されていますが、羽田先生はそれらの改革において中心的な役割を果たしてこられました。また、国内外の大学教育の動向についても豊富な見識をお持ちです。本シンポジウムでは本学の今後の教育を考える上で大変貴重なお話をお伺いできると思います。

皆様には、ご多忙中かと存じますが、是非ともご参集いただきますようによろしく願いいたします。

司 会： 飯吉 弘子・西垣 順子（大学教育研究センター）

主催：大阪市立大学 大学教育研究センター

共催：全学共通教育教務委員会

E-mail: [center@rdhe.osaka-cu.ac.jp](mailto:center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)

Fax：06-6605-2137

※当日参加も歓迎いたしますが、会場や資料準備の都合上、**12月4日(木)までに、大阪市立大学 大学教育研究センター (center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)宛に、ご所属とお名前・ご連絡先をご連絡いただいただけると助かります。**